

第67期 報告書

2010年4月1日 ▶▶▶ 2011年3月31日

**お客様の事業を変革する
新たなパートナーシップを目指します。**

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私はこのたび、代表取締役社長に就任いたしました黒川茂でございます。第67期報告書をお届けするにあたりまして、株主のみなさまにご挨拶申し上げます。



Profile

昭和49年4月 当社入社
システムエンジニアとして金融部門を中心に担当した後、
当社常務執行役員(システム統括部門長、金融事業部門長、金融企画部長、
USOLホールディングス株式会社代表取締役社長を兼務)を経て現職

はじめに、東日本大震災により被災された株主のみなさまに、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社は、震災発生直後に真っ先に被災地に駆けつけ復旧支援を行いました。その結果、ほとんどのお客様が、翌日には業務を通常通り再開することができました。また、自治体向け住民情報システムや危機管理情報共有システム、在宅勤務を支援するツールなどのサービスを無償提供するなど、被災地のみなさまの復興を微力ながらお手伝いさせていただいております。

私が、入社以来30年以上現場に携わってまいりましたなかで、お客様が求める価値が時代とともに大きく変わってきたと感じております。以前、ITに求められていたことは、ビジネスの省力化やコスト削減などでした。今やその範囲だけに留まらず、お客様のビジネスの機会を拡げ、収益拡大につながる総合的な提案がIT企業に求められています。

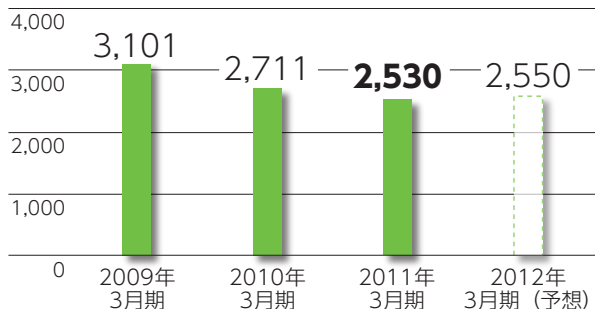
今期も厳しい環境下にありますが、お客様と価値を共有するというU&U® (Users&Unisys)の精神をさらに高め、スピードを重視したサービスを通して、お客様の事業の成長、および新たな社会の実現に貢献していきたいと考えております。

今後とも株主のみなさまの一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

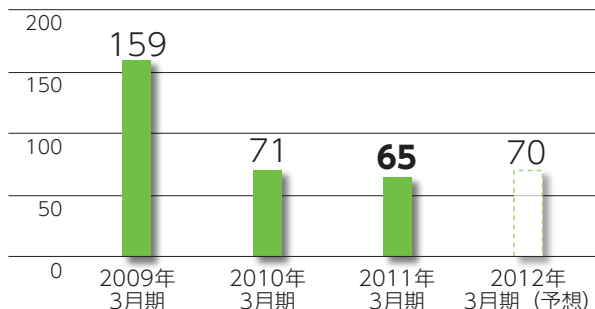
2011年6月
代表取締役社長

黒川茂

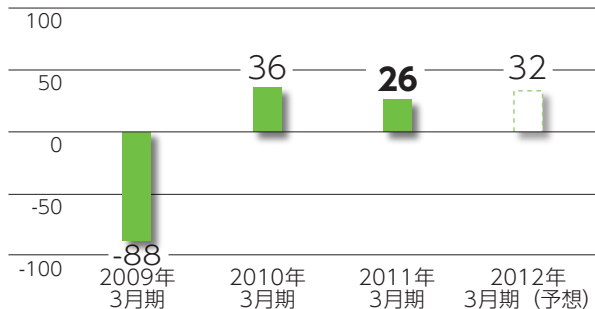
売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



当期純利益(単位:億円)



業績のポイント

企業のIT投資抑制が続いたほか東日本大震災の影響もあり、売上高は2,530億円(前期比6.7%減)となりました。外注費の削減や販売費及び一般管理費の抑制などコスト削減に努めたものの、売上高減少に伴う利益減少により、営業利益は65億円(同8.1%減)となりました。当期純利益は関係会社株式売却により13億円を特別利益に計上したものの、資産除去債務や子会社ののれんの一時償却を特別損失に計上したことなどから、26億円(同29.0%減)となりました。

キャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローが前期比で増加(同72億円増)した結果、フリー・キャッシュ・フローは105億円の収入(同107億円増)となりました。

(単位:百万円)

業績の推移

	2010年3月期	2011年3月期
売上高	271,084	252,989
売上総利益	68,924	65,881
販売費及び一般管理費	61,818	59,353
営業利益	7,105	6,527
経常利益	6,918	5,833
当期純利益	3,626	2,574

(単位:百万円)

キャッシュ・フローの推移

	2010年3月期	2011年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,500	21,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,700	△ 11,168
フリー・キャッシュ・フロー	△ 200	10,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,370	△ 5,587
現金及び現金同等物の期末残高	25,461	30,413

財務のポイント

総資産は売掛金の減少などにより前期末比108億円減少の2,073億円となりました。

負債は買掛金の減少、借入金の返済などにより同106億円減少の1,305億円となりました。

純資産は768億円となり、自己資本比率は36.4%となりました。

(単位:百万円)

財務の推移

	2010年3月期末	2011年3月期末
流動資産	120,792	112,943
固定資産	97,273	94,338
資産合計	218,066	207,282
流動負債	87,790	79,195
固定負債	53,348	51,316
負債合計	141,139	130,512
純資産	76,927	76,770
負債純資産合計	218,066	207,282

2012年3月期 業績予想と配当計画

先行き不透明な事業環境のなか、2012年3月期の業績は、当期並みの売上高2,550億円、営業利益70億円、当期純利益32億円を計画しています。

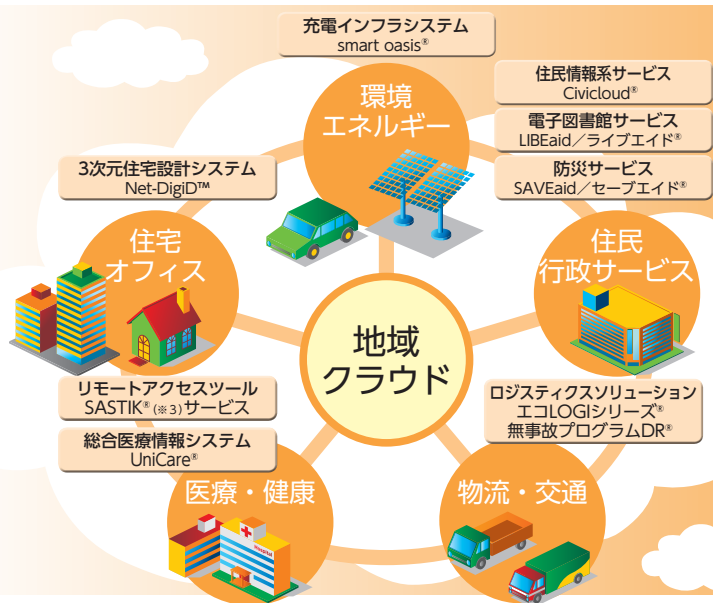
配当については、企業価値の増大が最も重要な株主還元であるとの認識のもと、「業績に応じた配当」を基本方針として、連結配当性向20%を目安に安定的、継続的な利益配分に努めております。2012年3月期は当期と同額の、1株当たり年間10円(中間5円、期末5円)を計画しています。

業績予想数値について

本報告書に記載しております業績予想などの予測数値は、発行時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本報告書における予想と異なる可能性があります。あらかじめご了承ください。

新たな社会の実現に向けて――

クラウドサービス^(※1)の提供を通じ、地域社会への貢献、被災地の復興支援、環境負荷の低減を目指しています。



地域社会に貢献

地域の活性化に向けたクラウドサービスの提供を通じ、暮らしやすい社会へ

地域社会におけるさまざまな環境変化のなか、日本ユニシスグループは、「クラウドで地域にリーズナブルな革新を」をコンセプトのもと、地域社会への貢献を目指すさまざまなクラウドサービスを提供しています。

自治体向け住民情報系サービス、電子図書館サービス、総合医療情報システム、交通事故防止のためのシステムなど、さまざまな分野でのサービスを取り揃えています。

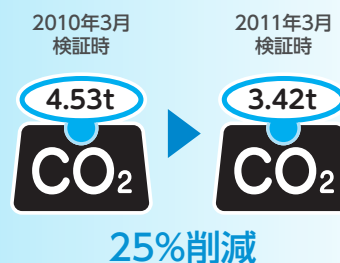
クラウド型でサービスを提供することにより、導入から運用までのトータルコストの大幅削減、業務効率化を実現し、住民にとって暮らしやすい地域社会の実現を目指しています。

環境負荷の低減

クラウドサービスのカーボンフットプリント値の大幅削減

商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまで、ライフサイクル全体で消費するエネルギーにより排出される温室効果ガスの量をCO₂量に換算して表示するカーボンフットプリント(CFP)制度の導入が推進されています。東日本大震災を機に、社会インフラの安定化や社会全体の消費エネルギー抑制が大きく求められるなか、日本ユニシスグループはクラウドサービスのひとつである『U-Cloud® IaaS^(※2)』において、契約単位当たりのカーボンフットプリント値を4.53tから3.42tに削減し、前年比25%のエネルギー効率向上を実現しています。

日本ユニシスグループでは、「ITが地球のためにできること」を環境基本理念としています。今後も効率の良いクラウドサービスを提供し、多くの企業に活用いただくことにより、環境負荷低減に向け大きく貢献していきます。



震災復興を支援

文部科学省の「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」を無償支援

日本ユニシスグループは被災地域の復興支援の一環として、文部科学省の「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」の開設を、クラウドサービスの無償提供を通じ支援しています。「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」とは、例えば「教職員を派遣してほしい」「学用品が足りない」といった被災地域からの支援要請に対し、地方公共団体・教育委員会・学校・企業・NPOなどが検討している人的・物的支援を結びつけ、支援が円滑に行われることを目指して作成されたものであり、これまでに多くの支援が実現しています。



東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト
<http://manabishien.mext.go.jp/>

※1 クラウドサービス インターネットを「雲(クラウド)」に見立て、雲の向こう側にあるサーバ・ストレージ・アプリケーションなどのICTリソースを必要な時に必要なだけ利用できるサービス形態を指します。

※2 IaaS (Infrastructure as a Service) サーバやストレージなどのリソースを、ネットワークを経由して必要な時に必要なだけ利用することができます。

※3 SASTIKは、株式会社サスライトの登録商標です。

株式の状況 (2011年3月31日現在)

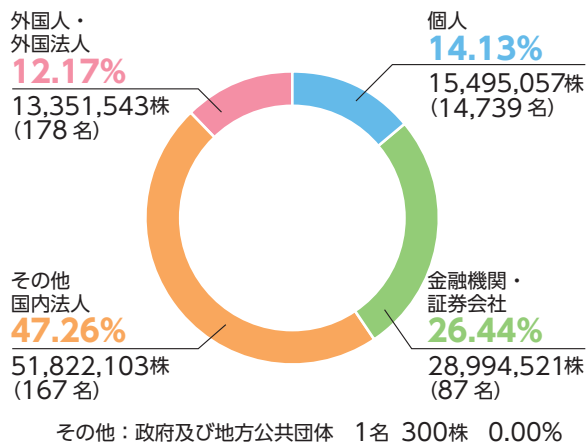
発行済株式総数…………… 109,663,524株
株主数…………… 15,172名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	30,524	27.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,128	6.50
農林中央金庫	4,653	4.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,196	3.82
日本ユニシス従業員持株会	3,066	2.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,257	2.05
全日本空輸株式会社	1,794	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	1,271	1.15
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,061	0.96
住友不動産株式会社	877	0.79

(注)上記の他、当社は自己株式15,670,382株(持株比率14.28%)を保有しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
特別口座に関する事務取次所	みずほ信託銀行 全国各支店 みずほインベスターズ証券 全国本支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 http://www.unisys.co.jp/com/notification ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード8056)

- 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や単元未満株式の買取その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。株券電子化後、これらのお手続きは、株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、上記「電話お問い合わせ先」または「特別口座に関する事務取次所」までお申し出ください。

日本ユニシス実業団バドミントン部レポート

募金活動を実施

日本ユニシス実業団バドミントン部では、東日本大震災に伴う被災者の救援・復興支援のために、選手・スタッフによる募金活動を実施しました。

3月31日、4月1日、ららぽーと豊洲と豊洲駅前にて3回にわたって実施した募金活動では、859,411円の義援金が集まり、日本赤十字社に寄付させていただきました。

募金活動にご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。



オリンピックレーススタート

2010年12月に行われた「日本リーグ2010」において、日本ユニシス実業団バドミントン部は史上初の男女同時優勝を達成しチームに勢いが出ております。

今年5月からは、2012年ロンドンオリンピックの出場権をかけたオリンピックレースもいよいよスタートしました。

現在、日本ユニシスからは12名の日本代表選手が選出されております。

みなさまの応援をどうぞよろしくお願いいたします。



上段左より 廣部、数野、早川、遠藤、山田、上田、坂井
下段左より 池田、潮田、高橋、松友、栗原

日本ユニシス株式会社

本社 〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1
電話 03-5546-4111 (大代表)



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。